

女性活躍推進にかかる業界取組宣言

女性活躍推進にかかる「業界取組宣言式」を石川県人材事業協議会が行いました



金沢市では「金沢市女性活躍加速化プロジェクト事業」により、女性の活躍推進、多様な人材活用、従業員のモチベーションアップ等、男性・女性がともに働きやすい就労環境づくりのための連続セミナーを開催しています。

このたび5月21日(火)に、平成30年度セミナーを受講した石川県人材事業協議会が、女性活躍等における自らの業界の課題、改善策を検討し、業界一丸となって取り組むべき具体的な方策を取りまとめ「取組宣言」を行いました。

業界内外に向けた『女性活躍』、『働き方改革』にかかる決意表明であり、他業界団体への機運の波及や取組拡大につながっていくことが期待されます。

DV防止啓発シンポジウム

DV・児童虐待の背景や影響、その家庭への支援などについて考えます(託児・手話通訳・要約筆記あり)。

- 対象** 11月26日(火) 15:15～16:45
- 会場** 金沢市教育プラザ富樫 121・122 研修室
- 内容** 『(仮)DVと児童虐待～その背景と影響～』
講師 明橋 大二氏
真生会富山病院心療内科部長
NPO 法人子どもの権利支援センターばれっと理事長
- 申込方法** 11/20(水)までに、電話、メール、FAXで、参加される方の①お名前②ご連絡先をお知らせください。
※託児をご希望される場合は、11/12(火)までに、お子様の①お名前②性別③年齢を併せてお知らせください。
- 申込先** 人権女性政策推進課
TEL 076-220-2095 FAX 076-260-1178
E-mail: jinkenjyosei@city.kanazawa.lg.jp



金沢市女性センター

金沢市男女共同参画推進の拠点施設です

【事業内容】

女性のエンパワーメント事業

女性が「自分らしく生きる」素晴らしさと出会い、充実した毎日を過ごせるよう、男女共同参画の視点で生活に密着した各種講座を実施しています。

貸館事業

女性の自主的な活動の場としての利用に提供しています。詳細はお問い合わせください。



お問い合わせ

金沢市女性センター
〒920-0861 金沢市三社町1番44号(金沢駅より徒歩12分)
TEL 076-223-1265 FAX 076-223-6299

男女共同参画出前講座

男女共同参画に関するテーマで講座等を実施する際に、講師や男女共同参画アドバイザーを派遣します。講師謝礼は金沢市が負担します。※人選は金沢市にお任せください

【講座のメニュー例】(ご相談に応じます)

- ◆ 地域で女性が輝くために
- ◆ 快適な場づくり～セクハラ・パワハラを起さない～
- ◆ 思いが伝わるコミュニケーション(地域編、家庭編)
- ◆ 娘や孫に伝えたい「女性のための護身術」
- ◆ 自分らしくワーク・ライフ・バランス
- ◆ 紙芝居で学ぼう「男女共同参画」とは?(介護編、子育て編)



- 対象** 金沢市内に所在し、活動する企業、団体、グループ等
- 会場** 申込み団体でご用意ください。原則として金沢市内。
- 実施回数** 1団体3回まで。1回の受講者は、概ね15人以上。

女性相談支援室 月～金 9:00～17:00

夫婦問題、離婚などの不安や悩みの相談
配偶者や交際相手からの暴力などの不安や悩みの相談
生活、その他女性の身上相談

問：金沢市女性相談支援室
TEL 076-220-2429 FAX 076-260-1178

女性相談専用電話 076-220-2554
秘密は堅く守られます。

特別相談 女性弁護士による法律相談 毎月第1火曜午後、第3金曜午後
要事前予約 臨床心理士による心の相談 毎月第2木曜午前
カウンセリング 毎週木曜

金沢市男女共同参画都市宣言 平成25年12月16日 金沢市議会議決

私たちのまち金沢は、市民一人ひとりが、歴史と伝統に学び、個性豊かな風格と活力のあるまちづくりを進めてきた。すべての人が性別にかかわらず尊重される社会の実現のためには、市民一人ひとりが互いの違いを認め、あらゆる分野に平等な立場で参画する機会が確保されるとともに、国際社会における取り組みと協調し、連携を深めていくことが重要である。よって、私たちすべての市民は、次代を生きる若者や子供たちが個性と能力を発揮できる未来とするため、男女共同参画都市となることを宣言する。

令和元年8月発刊



金沢市男女共同参画

ささえあって 輝いて あなたもわたしも未来へ向かって

るうぷ

STOP! DV

STOP! 児童虐待



お問い合わせはこちらまで

金沢市人権女性政策推進課
076-220-2095

STOP! DV

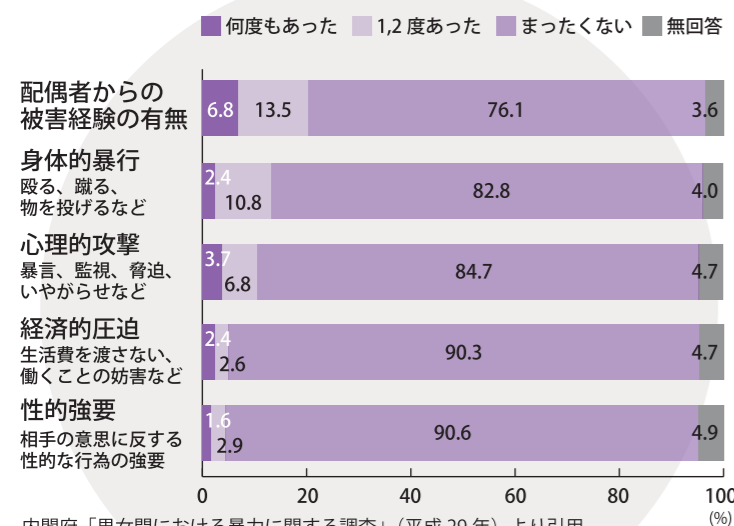
家庭内の暴力がない金沢へ！



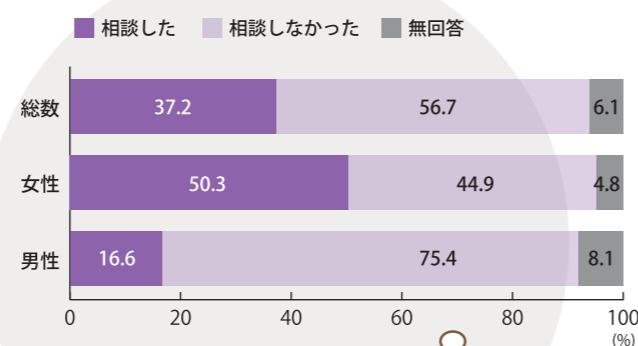
STOP! 児童虐待

配偶者やパートナーへの暴力であるDV。子どもへの暴力である児童虐待。DVと虐待は別の問題としてとらえられがちですが、両者は密接に関わっています。家族の中に加害者と被害者がいること。逃げ場のない家庭の中に暴力が存在していること。家庭内の暴力をなくすためにはどうしたらいいのか、私たち一人ひとりが考えていきましょう。

配偶者から暴力行為を受けた経験



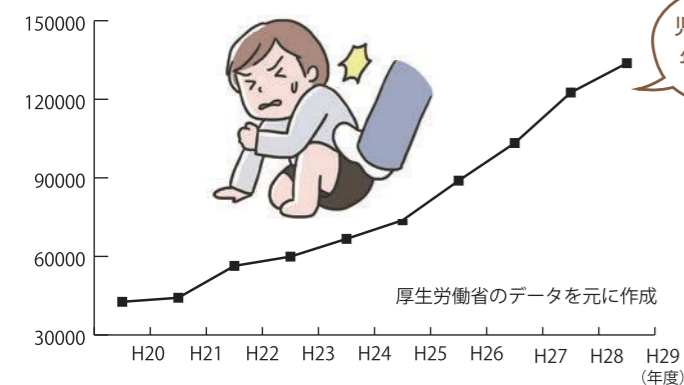
DVを受けたとき相談しましたか？



女性の約4割、男性の約7割はどこにも相談していません。



国内の児童虐待相談件数の推移



ひとりで悩まず相談してください

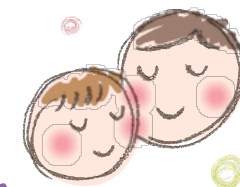
DVを受けているかもと感じたら ▶▶
ひとりで悩まないで、周囲の信頼できる誰かに相談してください。電話相談もあります。匿名で大丈夫です。

友達からDVの相談を受けたら ▶▶▶▶
相談を受けたということは、あなたを信頼してのことです。決して諭したり、責めたりせず、話に耳を傾けてください。「あなたは悪くない」と伝えた上で、専門の相談機関をすすめてください。

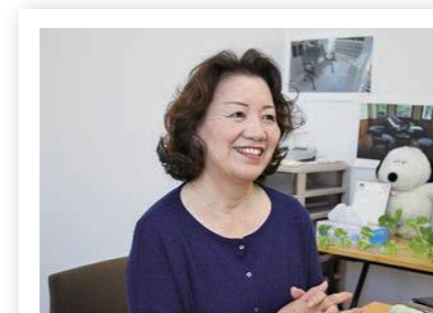
秘密は固く守ります！
金沢市女性相談支援室
(配偶者暴力相談支援センター)
076-220-2554
月～金 9:00～17:00

女性相談支援室では、女性が生きていく上でぶつかる困難や悩みについて、女性相談員と一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。
※DV被害男性の相談にも応じます。

本来なら安らげるはずの家庭という場所で、なぜ暴力が起こってしまうのか。その背景にあるものは何なのか。子ども夢フォーラム代表の高木真理子さんにお話を聞きました。



暴力の背景にあるものと私たちができること



高木 真理子さん

子どもたちの声を聴くことを目的に1999年にNPO子ども夢フォーラムを設立。チャイルドライン・いしかわ(子どもがかける子ども専用電話)やパパママ・ホットライン(子育ての悩み相談電話)の運営を通して、子どもたちの育ちと一緒に考える活動をおこなっている。

相手を思いやる経験を積めなかった大人は、ストレスを感じたときに、そのストレスを弱者に向けます。人間ですからイライラすることは誰にでもあるでしょう。でも行動はコントロールしなければいけない。家庭内でストレスを感じたときに自分の行動にブレーキがかからない状態が、DVや虐待を引き起こしています。

DVや児童虐待は外から見えない

DVは表面化しにくい問題です。「恥ずかしい」「多分信じてもらえない」などの理由で、誰にも相談できない人がどれだけいるか。経済的な問題や、子どもには父親が必要という固定観念から踏みとどまるケースも非常に多いです。奇跡的に「助けて」と声を上げても、信じてもらえなかったり、諭すようなアドバイスをされたりすることもあります。その場合、再び心を開くのは難しくなります。

児童虐待に関しても、子どもたちから声を上げられるケースはほとんどありません。なぜなら信用できる大人が周りにいないから。子どもは必ず何かのサインを出しています。それに気づかない大人、信じたくない大人、軽く考えている大人がいるだけです。

私は今までに多くの子どもたちの声を聴きました。第三者から「どんな内容があるのか」と尋ねられることもあります。しかし一切口外はしません。どこかで私が「こんなケースがあった」と話したのを見聞きしたら、たとえほやかしても子どもは気づくでしょう。彼らからの信頼は絶対に失いたくないのです。

声を出してもっと会話をしよう

地域のみなさんには、もっと子どもたちへの関心を持ってもらいたいです。すぐにできるのが言葉かけ。難しいことはありません。近所の子どもを気に掛けて「おはよう」「おかえり」と自分から声をかける、たったそれだけです。しかし、その積み重ねが信頼関係につながります。信用できそうな大人が地域に一人でもいれば、もしものときに子どもは声をあげられるかもしれない。救われるかもしれない。

声をかけるときに気をつけてほしいのが、元気な返事を期待しないこと。返事をしない子に「なんやあの子は」と思わないであげてください。むしろ返事が言えない子ほど、気にかけてほしい。そして何か返してもらおうと思わずに、ただただ言い続けていければいいんです。

私たち大人に必要なのは、直接会話をする時間です。声を出して話すことを大切にしてほしい。話さないと言葉は蓄えられません。表現方法も育ちません。腹が立ったら、腹が立っただけ。気持ちを適切な言葉に変換できないから、行動が暴走してキレてしまう。

DV件数、虐待件数ともに増加している今、大人も子どもも自己肯定感を育て直すしかありません。それには、私たち大人が互いに話し合えるような環境を作り、受け止め合い、認め合い、ときには弱音をはくこと。人との適切な関わりがあれば、生きていく上での土台が作れます。そうやってみんなで生き直していくしかないと思います。

子どものための電話相談

あなたからの電話を待っています！

チャイルドライン

0120-99-7777
毎日 16:00～21:00

(高校生) 青少年相談

076-243-4158
平日 9:00～17:45

(中学生) こども専用相談ダイヤル

0120-92-8349
平日 9:00～21:00
土日祝 9:00～17:00

子どもの人権110番

0120-007-110
平日 8:30～17:15

デートDVを理解するために

若年層向けデートDV防止啓発冊子
みんなで考えよう！
“デートDV”
金沢市の公式HPよりダウンロードできます。



金沢市内中学2年生向け啓発冊子
かけがえのない自分を大切にするために
市内の中学2年生に配布しています。